

有田川町議会広報
かわら版

平成21年11月発行

第15号

発行 有田川町議会
住所 郵便番号 643-0021
和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.ariogawa.lg.jp/profile/gkaiho.html>



上六川小学校最後の運動会

もくじ

| | |
|-------------------|---------|
| 平成21年度補正予算など..... | 2 ~ 5 |
| 町長に問う(一般質問)..... | 6 ~ 18 |
| 委員会レポート..... | 19 ~ 20 |
| 議会傍聴記..... | 21 |
| 編集後記..... | 22 |

白馬中学校耐震化(工事費)に 1億2,500万円



◎平成21年度一般会計補正予算の主な歳出

(単位：千円)

| 項目 | 補正前の金額 | 補正額 | 補正後の金額 | 内 容 |
|---------|------------|---------|------------|-------------------------------|
| 議 会 費 | 133,238 | △ 1750 | 131,488 | 職員手当など |
| 総 務 費 | 2,471,783 | △ 90440 | 2,381,343 | 退職手当事務組合負担金(減額)、携帯電話エリア整備事業など |
| 民 生 費 | 3,314,991 | 57,302 | 3,372,293 | 緊急雇用創出事業、介護保険事業特別会計繰出金など |
| 衛 生 費 | 1,206,572 | 29,360 | 1,235,932 | 退職手当事務組合負担金など |
| 労 務 費 | 10 | | 10 | |
| 農林水産業費 | 1,596,821 | 263,410 | 1,860,231 | 林道舗装工事など |
| 商 工 費 | 133,627 | 12,010 | 145,637 | 退職手当事務組合負担金など |
| 土 木 費 | 1,144,712 | 29,372 | 1,174,084 | 退職手当事務組合負担金、公共下水道事業特別会計繰出金など |
| 消 防 費 | 660,032 | 43,463 | 703,495 | 退職手当事務組合負担金、防火水櫃整備工事など |
| 教 育 費 | 1,447,940 | 229,969 | 1,677,909 | 備品購入、中学校地盤補強・大規模改造事業など |
| 災害復旧費 | 84,209 | 602 | 84,811 | 農地災害復旧事業 |
| 公 債 費 | 3,088,952 | | 3,088,952 | |
| 繰 支 出 金 | 229,136 | 8,000 | 237,136 | 基金利子積立金 |
| 予 備 費 | 10,000 | 17,400 | 27,400 | その他予備 |
| 歳 出 合 計 | 15,522,023 | 598,698 | 16,120,721 | |

平成21年第3回定例会は9月3日から18日までの日程で開催されました。本定例会には報告2件、諮問2件、平成21年度補正予算、条例の制定、工事

請負契約などの議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。なお平成20年度決算の認定は、特別委員会へ付託されました。



黒プラスチック収集場

一般会計補正予算質疑
質問 プラスチック収集場の工事請負139万円の説明を求める。
環境衛生課長 破砕機の点検整備などをする場合、脚立に乗って行なっているが、部品をはずす際に、移動ができないと点検業者から申し入れがあった。

労働安全衛生規則では2メートルを超える高所で作業をさせる場合は、作業床が必要であり、その作業床を設置する工事である。
質問 観光費の修繕費400万円の説明を求める。
産業課長 ふるとと開発

公社が、管理運営している、しみず温泉、二川温泉、あさぎりなどの設備機材の修繕である。主なものは、二川温泉のボイラーの熱交換機取替工事、あさぎりのファンコイルの取り付け工事などになっている。
質問 政府は、各事業の全面的な見直しをしている。森林再生事業、里山事業は見直しで影響を受けると思うが、町長の取り組み決意はどうか。

町長 全国の町村長通達で、取りまとめを行っている。県下でも影響がないか集計をとっている。10月に町村会長会で整理し政府に要望していく。

町長 緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業委託料1563万4千円。緊急雇用であれば失業で困っている方を募集し、有田川の河川の草刈や倒木等の事業に投入して雇用面や環境面から考えるべきでないか。

町長 有田川は雑木などで大変なことになっているのは知っている。鮎の時期が終われば県がやってくれると聞いている。

福祉課長 緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業委託は、明恵峡温泉、二川温泉などの観光地を整備する事業として予算化している。

町長 文化保健センターの修繕料で約88万円予算化している。教育委員会

の移転費用だが、いつころ移る予定になっているか。森林組合や商工会の事務所はどのようなになるのか。

町長 教育委員会は、平成22年3月までに文化保健センターへ移る予定だが、できれば今年中に準備してすみやかに移りたい。

森林組合と商工会の移転は、金屋庁舎3階へ移す予定である。

町長 理科教材備品購入費で2310万円予算化しているが、理科教材備品は町内業者に分割発注できないか。

学校教育課長 入札は町内の業者に発注を考えている。

町長 アレックへの臨時雇いは、町へ履歴書を出している中から人選となっていて、あらかじめ決まっ



福祉保育所の駐車場建設予定地

いるのではないかと。**社会教育課長** 決まっていない。履歴書を提出された方の中から極めて慎重に人選していく。

町長 体育施設費の中で顧問弁護士委託料50万円予算化している。農民広場の件だと思うが、解決に向けて進めるといふことか。

町長 話し合いの余地がでてきたので、今回の提案は見送らせていただく。

◎特別会計補正予算の主な歳出

(単位：千円)

| 項目 | 補正前の金額 | 補正額 | 補正後の金額 | 内 容 |
|----------|-----------|--------|-----------|----------------------|
| 国民健康保険事業 | 3,804,765 | 55,030 | 3,859,795 | 療養給付費など負担補助金返納金など |
| 後期高齢者医療 | 665,369 | 3,328 | 668,697 | 総務費、後期高齢者医療広域連合納付金など |
| 介護保険事業 | 2,333,699 | 19,546 | 2,353,245 | 償還金、介護サービス費など |
| 簡易水道事業 | 614,318 | 2,069 | 616,387 | 簡易水道施設整備費など |
| 公共下水道事業 | 858,893 | 28,378 | 887,271 | 職員工手当、早期継続奨励金など |
| 農業集落排水事業 | 319,248 | 22,505 | 341,753 | 工事請負費 |
| 水道事業会計 | 658,760 | 4,905 | 663,665 | 公共下水道に伴う設計業務及び減価償却費 |

特別会計補正予算質疑

町長 厚生労働大臣は、後期高齢者医療制度を廃止するといっているが、県後期高齢者広域連合は何か検討しているのか。町はどうか。

町長 存続の要望を出させていた。新たな保険、一元化の話もあるが、どういう方向に進むか分からない。

住民課長 県に聞いても詳細は分かっている。町も対策は具体的にやっていない。

条例の制定
◎観光施設巡回バスの運行及び管理に関する条例の制定

町長 有鉄との協議もあるが、運行規則はどうか。

町長 できるだけ有鉄の時間帯と重ならないようにつめていきたい。できれば有田鉄道との随意契約を考えている。



アレックの図書

- 超短波無線電話装置購入
約2372万円
- 小型消防ポンプ購入
約1057万円
- 地上デジタル放送対応
テレビ購入（吉備地
区）
1606万5千円
- 地上デジタル放送対応
テレビ購入（金屋・清

財産の取得

談して時期を選んで決めている。水泳指導は早めてやっている。

- 人権擁護委員の推薦
山崎 一 幸氏
三ツ村 あけみ氏

諮問



高速道路、インター工事現場

- 水地区）
約1406万円
- 町有公用自動車（塵芥
収集車）購入
1133万円
- 有田川 Library
図書購入
約6074万円
- 古備インター連絡線の
廃止と認定

道路線の廃止・認定

請願・要望

仮称「徳田橋」の建設に関する請願

- 提出者…アクテイ徳田
嶋田 典之
徳田区長会長
小早川 能明
- 付託先…産業建設常任委員会
結果…採択

簡易水道新設に関する請願

- 提出者…有田川別荘管理
㈱代表取締役
関川 正博
㈱森野卵場
和歌山支店長
三好 進
- 付託先…住民福祉常任委員会
結果…不採択

水尻地域の雨水排水の見直しと計画に関する請願

- 提出者…水尻区長
森口 尚利
ほか4名
- 付託先…住民福祉常任委員会

二澤観音堂への参道橋梁整備に関する要望

- 結果…継続審査
- 提出者…二澤区長
坂上 熊三
- 付託先…産業建設常任委員会
結果…採択



天満地内の冠水した状況

町長に問う 一般質問



中山町長



楠木教育長



山崎企画財政課長



須佐見総務課長



東建設課長



中島産業課長



東下水道課長



福原住民課長



三角社会教育課長

こんなことが取り上げられました

| 質問議員氏名 | 質問事項 |
|--------|---|
| 浦 博善 | 1. 材料（コンクリート）支給には経費の補助も 2. 地デジ対応の設備へは行政からの救済を求める 3. 国道424号線の五西月バイパス計画は |
| 森本 明 | 1. 住環境の整備と産業振興について |
| 佐々木裕哲 | 1. 町財政の自主財源を増やすための今後の対策を聞く 2. 危ない交差点 何とかして!! 3. 新型インフルエンザ対策は 4. どう思う、有田川の堆積土 |
| 岡 省吾 | 1. 町長の次期町長選に挑む決意をうけて 2. 二澤観音堂への参道橋梁整備について |
| 前勢 利夫 | 1. 森林整備加速化、林業再生事業（間伐、里山対策）について問う 2. 管内国道（424号、480号）改良整備促進を今後、当町として取り組もうとするのかを問う |
| 竹本 和奈 | 1. 安心して暮らせる地域づくりを 2. 旧3町の均衡ある事業の推進を |
| 中山 進 | 1. 教育問題について |
| 西 弘義 | 1. 町として今後の対策はどうするのか |

| 質問議員氏名 | 質問事項 |
|--------|--|
| 板上東洋士 | 1. R480号清水地内道路路没の件は 2. ふれあいの丘スポーツパークのスライダー撤去の件について 3. 次期町長選について |
| 堀江眞智子 | 1. 県の「子ども読書活動推進計画」を受けての有田川町の取り組みと町内4カ所の図書館、図書室、図書スペースのあり方は |
| 橋部 重計 | 1. 新型インフルエンザ感染対策について 2. 営農栓について 3. 第3保育所の移転改築について |
| 亀井 次男 | 1. 国道424号改修工事 2. 藤並駅周辺整備 3. 固定資産税 4. 選挙管理委員会 |
| 増谷 憲 | 1. 国保一部負担金減免制度の実施と充実について 2. 中山圏地域等直接支払制度について 3. 県から町村へ委譲する事務、権限について 4. 地域審議会について 5. 庁舎問題について |



町道舗装には諸経費の補助を!!

浦 博 善

材料支給には諸経費の援助を

町が工事発注をしなければならぬ、町道の舗装工事のようなものに対しては、材料支給額に見合った諸経費程度の費用を、実施した地域に補助するような対策はとれないのか。

町長 町道は町で管理するのが当然であるが、材料支給により地元で管理して頂くことで工事費も安く上がり、より多くの



住民による町道の舗装工事

地デジ対応の維持費は国で負担を

町道舗装が可能となっている。国の経済対策により本年度の材料支給額は3000万円であり例年の約4倍である。たくさん材料支給をしたことにより、工事が大きくなり、重機のレンタルをしたようである。今後は、地元でそういった多くの費用が発生するような事態があれば検討したい。

デジタル放送への切り替えは国が進めてきた事業であり、国が責任



ギャップファイブ方式による共済施設(イメージ図)

を持って監視地域への対策を進めるべきだ。普通の放送を見るための設備経費は国が負担するべきでないか。

町長 清水地域では、光ファイバーによる視聴が最善であると判断し整備を進めている。その他の地域では共済施設を改修している。整備費用は国と町が半分ずつ負担し、維持管理費は地元で負担して頂きたい。修繕費用は100万円以上については町が半分負担することになっている。

私も当初から地デジ改修に伴う費用は、国がすべて負担するべきであると国に対して言っている。また他町から同様の申し入れもあり、県の町村会でもまとめて国に働きかけていく。

道路整備は地域活性化の切り札だ

町長 国道424号の改

修方針として、修理川バイパスの次は五西月バイパスへと整備方針を立て事業を進める時だ。また町行政だけでなく、地域住民や近隣市町村も含めた大きな改修促進委員会を設立し、さまざまな方面から要望活動を展開することも必要だ。

町長 国道424号整備促進は五西月地域の長年の夢であり、最近交通量も大幅に増加していることから、国に対して強く陳情を重ねている。修理川バイパスが平成21年10月に開通するため、今後の改修は五西月バイパス・吉田バイパスを含めた、海南方面に向けての北進に取り組む。また今後は、地元住民の協力のもと紀の川市など関係市町村とも連携をとりながら、改良促進委員会の拡大に向けて進めていく。

町づくり施策を重点的に



森 本 明

下水処理対策は

町長 金屋地域では市町村型下水処理を推進したが進捗状況はどの程度か。今後普及が期待できないのであれば、合併処理槽設置の補助金（現行5人槽33万円、7人槽41万円）に、町単独分を上乗せし、設置を促進し下水処理に努めて頂きたい。

町長 市町村型下水処理は、西ヶ峯、青田、長谷川などで79世帯に設置している。今後は、合併槽処理が主流になってくると思うので、来年度から補助金を増額し、促進していきたい。

排水路計画は

町長 金屋区長会から排水路、用水路改修の要望が17地区から出されている。区民のみなさんからの切実な願いであり、そ

の要望は大変重いものである。緊急性のあるところから取り組んでいきたい。糸野地区のように、用水路が有田川まで達してなく、雨水がはけない上、以前から下水の処理水を流せないという、区の中での申し合わせ事項もあり、排水路の建設が急務と考える。

町長 現在、20年度要望の17ヵ所まで改修に取り組んでいる。今年度の要望についても、来年度から年次計画を立て実施していきたい。また糸野地区については、区長さんと

相談し改修に努めたい。



国道拡幅工事が進む島屋城小学校跡地

産業振興を

相談し改修に努めたい。

町長 町内には、みかんなどの柑橘類、山椒、ぶどう、高原トマト、スプレー菊などが栽培されている。このような農産物の販路拡大、収益改善に向けて、JAと連携し頑張って頂きたい。

町長 みかんにおいては、「ブランドありだ果樹産地協議会」、山椒は「しみず山椒の里活性化協議会」など、あらゆる団体、関係者で組織し、販売促進、PR活動などの事業をJAと連携して行っている。また、今後は私自身が販売促進をし、他の農産物と併せ積極的に産地PR、市場調査などを行ない、販路拡大、収益改善に努めしていきたい。

庁舎建設は

町長 金屋分庁舎はいつ予算化し、完成はいつ頃か。

町長 庁舎問題検討委員会の答申を受け、来年に着工し、平成23年度完成を予定している。

金屋地域の活性化対策は

町長 町長は金屋地域をどのように発展させていくのか。

町長 この地域は、国道424号線、480号線が通っており、10年以内には鏡石トンネルも開通する。非常に魅力ある町である。また、みかんの生産量も多く、スプレー菊などの栽培も盛んであり、これらの農産物資源を活かしたまちづくりをしていきたい。



町財政の自主財源を増やすための対策は

佐々木 裕 哲



源木が繁る有田川

人口定住対策を



町財政の歳入構成をみると、町税など自主財源が25%しかなく、国、県に頼っている。いかに財源を増やすかが、有田川町の課題であり町づくりでもある。合併して4年近くなるが人口が約1000人減少した。しかし吉備地区は増えている。それは過去に道路網などを整備し企業誘致した先人の方の功績のたまものである。現在、公共下水道

事業を進めており、これは将来人口が増え若い人が定住してくれる基となる。人口が減少していく自治体には経済発展はあり得ない。経済は人、物、金から成り立っているからだ。

昨年の町税のうち固定資産税は新築、増改築により約2900万円増加した。不動産売却で約6100万円財産収入があるが、合併してからの実績および今後の予想計画と町有地の売却計画も聞きたい。

町長 平成18年の合併から4年間で1018戸、税額で9700万円増加した。今後の予想は年間200戸、税額で約2000万円程度みている。強い自治体をつくるためにも自主財源を増やす町づくりを進める。また現在104カ所の町有

地があるが、売却できる土地は検討する。

危ない交差点



町道吉備中央縦貫線鳥尾川橋交差点、東西に横断する場合、非常に危ない。早急な対策を望む。

町長 近くにアレック(地域交流センター)があり、利用者が多く、交通量も増えている場所であり、早急な対策を検討する。

新型インフルエンザ対策は

町長 全国的に流行の勢いが止まらない新型インフルエンザについて、国はワクチン対策や防止策を発表しているが、町として学校、保育所など、万全の対策をとっているのか。

町長 町としては厚労省の指示に従い対応する。保育所、小中学校に

対しては校長会などでうがい・手洗いなどの徹底、またチラシなどの配布ですでに万全の対策をとっている。

どう思う有田川の堆積土



現在の有田川は県下の河川の中でも特に雑木が茂り、森かジャングルだ。いつ大雨が降らないとも限らない。その時は今の状態では大変なことになる。本来は県会議員が言うべきことであるが、雑木だけでも今すぐ伐採すべきだ。有田郡市みんな県に対して一大運動をすべきではないか。

町長 今年度、鮎の漁期が終了しだい例年の何倍か伐採してくれる予定だ。今後、県議会議員の方々と河川の促進協議会とも相談しながら強力に陳情していきたい。

町長の次期町長選に挑む決意をうけて



岡 省 吾

過疎地への今後の取り組みは

【質問】 6月議会に町長は次期町長選出馬の意向を示された。現在まで過疎地対策として観光振興に力を注いでいただいているが、山積する過疎地問題に対し、今後どう取り組むのか。

町長 観光施設巡回バスを運行し、町外の方々に来ていただけるよう歴史や文化を発信し、更に観光面を重視したい。また荒廃する田畑の将来を危惧する地域で、農業法人を立ち上げる気運が高まっている。補助金も優遇されるので、若者が農業



山積する過疎地問題にどう取り組む(湯水地区の町並み)

に参入して画期的な事業が展開できるよう期待している。時限立法の過疎法についても、継続できるように国と折衝中である。

若者たちの活動にさらなる支援を

【質問】 現在、町内各所の若いみなさんが町活性化のために日夜、活躍いただいている。彼らの活躍は町にとって欠かすことのできない大きな力だ。今後の更なるバックアップを。

町長 町内いたるところで若いみなさんに活躍いただき大変ありがたい。地域を盛り上げていただいている方々には、今後補助金として助成したい。

公共事業は雇用の受け皿だ

【質問】 山間地では特に雇用の問題が切実だ。今まで土建業者が若者の雇用の受け皿として一役を担っていたが、昨今の公共事業の減少や、県の公共事業入札制度の弊害などで、多くの会社の経営が窮地に追い込まれている。折しも政権交代の余波で今後の先行きも不安視されているが、立ち遅れている過疎地の基盤整備は今後も最重要課題だ。今後安定的に事業が進められるよう、県ともども国へ働きかけられたい。

町長 地方の道路整備は緊急医療や経済発展の面からも非常に重要であり、その必要性を強く訴えたい。また県の公共事業入札制度についても、一部修正の方向で向かっているが、町村会の意向を受け、入札制度を是正していただけるよう、県会議員とともに働きかける。

二澤観音堂の周辺整備を早急に

【質問】 二澤観音堂は文化

的価値もさることながら、住民みなさんが安らげる心の拠りどころとして重要な役割を果たしている。しかし観音堂に通ずる橋梁は、風雨に朽ち損傷が激しい。またこの先に林道が整備される計画もあり、今後は橋梁を支えるワイヤー線が木材運搬に支障をきたすこととなる。早期の改修を望むが見解を問う。

町長 現場の状況や、林道整備に伴い木材運搬に支障をきたすことも把握している。近く、区長さんと打ち合わせをさせていただき、いち早く架け替えられるよう取り組む。



早期改修が望まれる二澤観音堂への橋



国の事情に左右されず森林整備に取り組み

前 勢 利 夫

森林再生事業を問う

町長 現況の森林事業は厳しいものがある。この打開策として国は本年度6323億円で間伐や里山対策の森林再生事業を進めている。その受け皿となる「地域協議会」の設立の通達を市町村に出した。この通達の見解を問う。

町長 林業を取り巻く環境は、憂慮すべき事態にある。今回の森林再生事業の中身も数多く用意されており、有利なものに関係団体とも協議し積極的に取り入れ推進したい。しかし、政権交代により、事業の見直しも取り沙汰され、国・県の動向を注視しながら対応せざるを得ない。

町長 林業にかかわる事業は、「森林組合法」により森林所有者の共同組織による地位の向上と森

林の保護、育成、生産力の増進による国民経済の発展に資するとされ、経営指導、委託を受けて行う事業・信託事業・病虫害防除・保護等の事業が含まれる。町内には、合併後も2つの森林組合があり、統合を進めるべきだと思いが見解を問う。

町長 流域林業の振興を図り、実現するためには相互の特性と自主性を尊重することを基本にして、更に組織力を高めるために、合併を視野に入れ、平成18年に県森連総会の決議「環境と暮らしを支える森林業、山村再生運動」にのっとり、組織・事業体制の改革に全力をあげ県当局とともに協議していく。

産業課長 林業再生事業は、構成団体が、県・市町村・森林組合・森林組合連合会・森林整備法人・林業経営体である。民間林業事業体が実施主

体となるには5戸以上の森林所有者と長期の施業委託契約を結び、施行計画の樹立が必要である。整備の概略は、条件不利の森林、特定間伐促進計画に位置づけられていることである。

助成単価は、除間伐等のみ1ha当たり20万円。除間伐関連条件整備1ha当たり25万円。これに工事用道路を付帯すれば1ha当たり45万円以内となる。

里山対策、侵入竹の除去で1ha当たり30万円。2年目以降は10万円。病虫害対策1㎡当たり4万円。広葉樹林等の再生で1ha当たり50万円。鳥獣防護柵設置1ha当たり30万円。

他に、高性能林業機械も助成に該当する。木材価格、御坊共販の杉丸太(14cm×4m)で1万2000円。ヒノキで1万7000円から2万円。

国道2線の改良は

西ノ原加工所の杉で7000円、ヒノキで1万円。伐採費は1㎡当たり3600円。搬出費5400円、運送費2520円、林業就業者の推移は、昭和55年で285人、平成12年で121人、平成17年で50人となっている。

町長 管内国道424号線、480号線は、中核都市、国際観光拠点(世界遺産、高野熊野参詣道)を結ぶ。今後の当町の周辺地域に欠かすことのできない路線であり、改良促進の取り組みを問う。

町長 必要な社会基盤整備の要としての両路線の整備は、当町とともに周辺地域の活性化のために住民や関係機関といっしょに取り組みたい。

バランスのとれた行政の推進を



竹 本 和 泰

安心して暮らせる 地域づくりへ



高齢化する山間地集落

【質問】 山間地域は特に高齢化、過疎化が進み一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えている。地域住民の相談に応じ、支援する福祉相談員制度などの設置を考えられないか。

町長 民生委員さんを補完する意味で、平成22年度から県が実施予定している地域見守り協力員制度の活用について検討している。また、一人暮らし

し高齢者等への生活面の支援として、町のシルバー人材センターによる

「21世紀の御用聞き事業」地域を巡回して高齢者の各種生活の要望を集約して不用品や粗大ごみの運搬、買い物、清掃等日常生活での支援サービスの実施に向けて補正予算を計上している。このような制度の活用で地域高齢者の見守り、支援体制を強化していく。

【質問】 生活の根幹をなす水道未給水地域の小集落等へ、町単独事業で給水施設の設置を考えられたい。

町長 今年度から立石、黒松地区で簡易水道の工事に着手する。生石地区については、いま地域の方々とのような方法が良いか協議中である。できるだけ早くやれるよう努力していく。

【質問】 小規模の道路や橋等の整備で地元施工の可

能な事業への補助金、原材料の支給幅を広く考えられたい。

町長 小規模道路整備事業実施規則で対応していく。また、生コンクリートや側溝のふたなど、原材料の支給も柔軟に対応していく。

旧3町の均衡のある事業の推進を

【質問】 旧3町の合併協議で合意している10年間の事業費は総計533億円。現時点では旧3町の実施事業は極端な不均衡な状況である。残り6年間で旧3町の均衡のとれた事業が実施できるのか。

町長 均衡ある発展ができるよう頑張っている。事業の実施は諸般の事情により格差があるが、関係者のみなさんのご協力を得ながらいろいろな事業について取り組む。

【質問】 金屋庁舎を含む周辺整備事業（分庁舎の建

設、周辺の道路、排水路整備など）を始め、水道未給水地域の解消や町道農道の整備など、懸案の事業の早期事業化を。

町長 水道事業は、今年度から2地区が事業化、農道も小川地区は間もなく整備へ、黒松の農道も既に着工している。庁舎周辺整備は庁舎建設（平成23年度完成予定）に伴い、周辺の道路、水路の整備をしていきたい。



金屋庁舎周辺風景



今後の町政にどのような指針を

西 弘 義

問 町長は8月の衆議院議員選挙において采配を振っていただき、二階代議士が当選されました。町長の力の強さには感服しましたが、今の感じでは選挙に勝って政治で負けるという思いがするの
で町長に伺う。

政権が変わるといのは、すべてをシャッフル(まぜる)して新しい創造の中で、政治が始まることだと思ふ。政権が自民党から民主党に変わった以上、変わったように物事をしなければならぬと思うが、町長は政権の変革を踏まえ、御自身のあり方をどのように考えているのか。また、有田川町をこれから先どのように進めるのか考えなければならぬ時期にきている。陳情に行っても決まらないようでは困る。やはり、土台作りをしなければならぬと思ふが、町長はどのように

お考えか。賢明な町長でまた、すばらしいお力を持ってもらえるので、民主党のときに頼らないでも十分いけると思ふが、具体的に考えてお答えいただけますか。

町長 今回国民の判断で変革をして政権が変わるという事態になった。陳情については、地元国会議員にお願いしたい。政権与党の民主党にお願いすることがたくさんあると思う。私は公の身として、町民のためになる政治を押し進めたい。

民主党のマニフェストにはすばらしいこともある。国の無駄遣いは徹底的に精査して欲しいと思ふ。反面、地方の道路は不要との意見ですが、地方には道路が必要だ。どの政党が政権を取っても町民のためになることは真剣に支援したい。

問 今までの政権は自民党であったので、支援

してきたことだが、政権が変わった以上、町長はどのような姿勢でいるのか。また、来年7月に参議院議員選挙があるが、町長はこの選挙に中立的な立場であるのか、一方的なことになるのか問う。

町長 参議院議員選挙については、マニフェストをしっかり読む。そして、そのことに対応して行動をしたいと思います。

民主党ばかりに反対するのではなく、自民党にも抗議を申し上げている。私は、町民のためになる



のであれば、徹底的にご支持ご支援を申し上げる。

問 町長は今の状況であれば、中立を保ってマニフェストに応じて考えると理解して良いか。

道路問題だが、すべてを洗い出し、進行している事業を見直し、地方に事業を分散すると、今の土木事業というのは、大きな土木事業ではなくライフライン(生活基盤整備)を一生懸命することなので、ここに付け加えておく。

町長 …(首を縦に振る)

スポーツパークのスライダー=撤去の経緯と今後の取り組みは!!



坂上 東 洋 士

【前】 ふれあいの丘スポーツパーク(清水地内)にある、全長432mのスライダーを撤去すると聞いたが、どのような経緯で本施設を取り壊すことになったのか。そこで働いてくれている人たちのご意見は、「やはりスライダーがあつてこそ、夏休みなどに子どもたちを連れてきてくれる、ひとつの顔である」との認識であり、強い思いがあるようである。私としてもせっかくなつくつたスライ



スライダーの乗り場

ダーを、なぜ撤去しなければならないか疑問に思う。後で町民のみならずからご批判が出るのではないように説明を求めた。

町長 この度実施する、ふれあいの丘スポーツパーク改修事業は、国の経済対策事業として去る6月議会に上程したものである。この施設は平成6年7月16日に開設し、当初は7月より平成7年3月末までの間に39319名、一日に換算すると1553名の方が乗車された。売り上げ高も1446万円余と高収益を上げていたが、平成18年度では9850名、19年度は8363名、20年度は8416名、21年8月末まで6129名と利用客が減少してきた。当施設は建設から15年を経っており、主要構造物(ケー



リフト

ブル線、減速機や車軸などが老朽化し、それらの交換に2000万円程度の費用がかかる。また本年4月には、夫婦で乗車された方が減速機の操作の誤りなどにより骨折された。カーブでスピードの出し過ぎによる転倒などもあり、この際撤去することになった。

ふるさと開発公社の中でも経営面から色々と研究され、スライダーの電気の使用については季節送電(利用客の多い時期だけ送電する)ができれば、関西電力に問合せたい。

だが、娯楽施設の場合はできないとの答えがあつた。今後はスライダーに替わるものを研究し集客に努力する。

なお遊歩道やコテージなどを建設したいと考えている。現在の計画は、コテージを3戸建設する予定であり、町民のみならず皆様のご支援ご協力をお願いしたい。あくまで撤去するにあたっては、ふるさと開発公社の役員会や理事会で決定したことを受けての予算処置であるのでご理解をいただきたい。



図書に親しむために

堀江 眞智子

子どもの読書活動は

質問 子どもにとって読書は重要だが、環境の変化から活字離れが広がっている。子どもが楽しく読書に親しむため、読み聞かせなどに取り組む学校も増加し、一定の成果が表れている。小さい頃から図書にふれ、読書する習慣を身につけることが大変重要。

町長 子どもの読書はとても大切。町では現在次の3項目を中心に事業を実施している。①乳幼児に、ブックスタートによる絵本の活動。②小学生に、ボランティアグループの協力を得て読み聞かせ。定期的な移動図書館で小学校をまわり、読書

に興味を持たせる。③イベント「絵本でワッショイ」を毎年実施、有名な絵本作家を招き、子どもたちが本に親しむなどの事業を実施。

教育長 子どもの本離れが指摘されている。視覚的な世界だけでは想像力が低下し、豊かな人間形成のため書籍はなくてはならない。本町においても県の推進計画にのっとり、子どもが読書に親しむ環境と整備を行っている。学校図書の充実には、今年度5000万円、3万冊を購入し、町内小中学校で100%の達成率。

ボランティアなどの支援は

質問 子どもの読書活動の推進のため、読み聞かせ・紙芝居など、子どもが読書に親しむ機会の提供など、地域に根ざした多彩な活動が必要。そのため、読み聞かせなどの

ボランティアや地域住民が活躍できるような支援が重要。町内の図書館・学校などで活動するボランティアなどについての評価と今後の支援は。

教育長 読書に親しむ活動について、ボランティア団体はなくてはならないと認識。今後とも育成の支援をしていく。グループ活動基盤を強固にする援助をし、自立型の社会教育団体として活動の幅を広げる支援をしていく。

今後の図書館運営は

質問 誰でも自力で通える場所に図書館を望む声を町長や教育長に伝えてきた。それをふまえ、町内4カ所の図書館などについて今後の運営の見通しは。アレックは、幼児の遊び場はあるが幼児の本がないという声も。ボランティアの方をはじめ

住民の声を聞き、図書の充実を図ってほしい。

町長 清水・吉備においては展示の工夫、子どもが本に興味を持つようしたり、本選びの助言をしたりしている。今年度は、金屋図書館を改装し、子どもと保護者がゆつくりと本に親しむことができるスペースづくりと書架の配置、子ども向け図書の充実を図ることを予定。

教育長 町内の図書館などについては、それぞれが特徴を持ち親しまれる図書施設となるように改革に着手。



アレック図書スペース

第3保育所はいつ着工か



補 部 重 計

新型コロナウイルスの対策は

【質問】 全国とどまることなく大流行している。国民の5人に1人が感染し、一日に4万人が入院するようなことが起こるかもしれない。感染対策、ワクチン予防接種の対応はどうか。

小・中学校での集団感染への対策、公共施設での予防対策、流行の本格化に備えて町の態勢はどうか。

町長 小・中・高校の集団感染で、学級・学年閉鎖が出ていることをめぐって県対策本部は、3日閉鎖の判断基準を発表、「クラスで約1割以上の感染者が出た場合」とした。

また10月下旬頃から始まるワクチン予防接種は、国内産が足りず、厚生労働省はワクチン接種の優先順位を決める計画案が

公表された。国、県の対策に応じ、町の対応を検討したい。

【質問】 安全対策の通知を徹底して、予防の実行対応として感染者の出席停止や学級、学年閉鎖で5日から7日間、また今後は学校、所管の保健所、県教育委員会と協議して決定していく。

営農用水「営農栓」は続けられるか

【質問】 プリペイドカード方式による農業用給水施設「*営農栓」は吉備地域で2ヶ所、金屋地域で15ヶ所設置され、灌水や薬剤散布に使用されている。増設を要望する農家も多い。

しかし、機材の販売・修理等の企業が事業から撤退し、故障や部品の交換など、今後、営農栓施設の運営を続けていけるのかどうか心配するが、町長の見解を問う。

町長 営農栓施設の事業から企業が撤退した後も他社製で同様の機種を探したが見つからず、現在カードシステム会社に保守点検業務を委託し継続している。

しかし、それも平成22年度で期限がきてしまう。平成23年度以降も企業の在庫部品を購入し、保管して当面対応したい。どこまで続けられるか分からないが、継続していきたい。

第3保育所の着工が遅れている理由は

【質問】 これまでの計画では、平成22年3月竣工、4月から開設する日程で進めてきたが、設計入札後、建設にとりかかるのが遅れている。建築の入札時期、施行はどうなっているのか。また保育所入所の公募はいつになるのか。

町長 建設にあたり地元

産の紀州材を使用する場合、国庫補助金制度があり、その申請をし、国の内示のあと9月県議会で予算の議決が必要となっているため遅れている。決まり次第入札し、11月から着工できる予定となっている。工期は5ヵ月間しかないが、平成22年3月末には完成したい。また子どもの入所の公募は、平成22年度からゼロ才児の入所も含め、今年の10月19日から申し込み書の配布を行う。11月3日から6日までの間で入所の受付を始める計画である。

※プリペイドカード式営農栓施設とは、吉備が20㎡で2300円、金屋が30㎡で3450円のカードを町から事前に購入し、そのカードを施設の機械にさして畑などへまく水を残額がゼロになるまで何回も使用できる施設。



亀井 次 男

藤並駅、金屋庁舎の周辺整備は

藤並駅周辺の進捗状況及び乗降客数は

質問 工事の進捗状況は、
町長 東口は、駅前広場として、自転車置き場の設置と遊歩道の整備、水路改修等の工事と、今後並行して有料駐車場の整備を行う。西口は、周辺住民や駅前利用者に迷惑や不便のないよう、東口の工事を勘案して、旧坂井歯科の所から進入ができるよう、計画している。東口西口ともに来年3月末に完成予定である。

建設課長 西口の浸水対策は、軌道敷に排水路計画（5000万円）ができるだけ早く入札を行っている。J Rと協議している。
質問 藤並駅の乗降客数はどうか。
町長 平成20年度は、1日当たり2478人、年間90万7138人の利用があり、19年度比、年

間4万4800人（12人/1日）の増である。

藤並駅にATM機の設置を

質問 国道42号沿いの信金が統合合併で閉鎖されると聞き、近隣の町民が非常に困惑している。
有田川町の取り扱い金融機関（紀陽・きのくに・JA）に対し中山町長より働きかけていただきたい。

町長 設置できるよう努力する。

水尻地区の下水道事業と雨水・排水対策は

質問 水尻地区の雨水・排水対策はどうか。
町長 平成22年度に下水道管渠布設の詳細設計を実施し、平成23年から下水道事業に着手する計画。

雨水・排水対策は、第1期地区の雨水対策地域である天満川と烏尾川流域（野田・一ツ松・小島・

上中島など）に水尻地区等が含まれるよう、エリア（地域）拡大の許可申請を、県と協議しながら進めていく。

金屋庁舎及び周辺道路の整備は

質問 金屋庁舎からJAありだ金屋支所間の国道424号線改良工事の計画・決定はどうか。
町長 平成17年度に県単独事業で測量に着手したが、平成19年度に国庫補助事業として認められ、平成20年度から用地の買収を行い、今年度、旧烏屋城小学校付近の工事を行っている。

質問 土地建物の補償額は。
町長 庁舎などの用地・補償費用など総額3880万円。
質問 金屋庁舎の耐震強度はどうか。
町長 昭和45年度に建築され、旧耐震基準に該当し、立て替えまたは耐震補強が必要だ。

質問 庁舎移転の検討は。
町長 「将来の庁舎及び事務機構に関する審議会」において、金屋庁舎の老朽化に伴い新築するのが望ましい。移転場所は、「旧烏小の跡地が適地」との答申を頂いた。



藤並駅にもATM機を

生活が困っている方に、 医療費の減免制度を



増 谷 憲

国保一部負担金減免制度 の実施と充実を求める

【質問】 厚生労働省は、今年の7月に「生活困窮者への医療費の窓口負担、一部負担金減免の適切な運用と国保・生活保護の連携」の通知を出した。国保法第44条では、例えば医療費を払うことが困難であると認められれば、①医療費を減額できる。②医療費の支払を免除できる。③直接徴収でその支払を延ばすことができる、となっている。

また保険料や医療費の減免が長期に続く方は、生活保護の相談にのるようになっている。この通知をどのように受け止めているか。

町長 「生活困窮」への対応を示したものである。その中で、生活困窮者には、国民健康保険の一部負担金の減免制度を運用する通知と理解している。

【質問】 今後実施予定になっている、モデル事業の基準では該当する方が少ないと思う。この基準については、提案した6項目を盛り込んで検討していただきたい。

町長 今後、有田川町もモデル事業の実施状況を踏まえ、制度をつくりたい。

住民課長 行政だけで判断するのではなく国保運営協議会とか、各議員にも助言をいただき、基準をつくっていききたい。

【質問】 無料あるいは低額診療事業は社会福祉法第2条3項の9に明記されている。生計困難者のために、無料または低額な料金で診療を受けられる病院への働きかけを検討されているかどうか。

町長 生活困難者の医療費を病院が負担する事業である。県内では、済生会和歌山、済生会有田の2病院で実施。他の医療

機関への働きかけは、難しいと考える。

今後、中山間地域等直接 支払制度はどうか

【質問】 中山間地域等直接支払制度は平成21年度末で事業が終わる。今後の計画はどうか。

町長 今後とも関係上位団体に強く要望していく。

【質問】 10年間取り組んできた地域が、再び耕作放棄地にならないか。

町長 町は、耕作放棄地の実態調査や耕作放棄地の再生事業に取り組む予定。また遊休農地解消対策として「和歌山版果樹産地づくり総合支援事業」を実施していく。

地域審議会の継続を

【質問】 地域審議会は、平成22年3月31日までだ。継続されるのか。

町長 審議会は継続しない。今後は必要に応じて、



有田川(厚生地内)

今後の庁舎はぶつていくのか

若い方や女性の方にも参加していただく諮問機関を設置したい。委員は公募していきたい。

【質問】 金屋庁舎の建て替えは、今後のことも考え、多機能な庁舎にすることが必要ではないか。

町長 当面、金屋庁舎に産業、教育、福祉、地籍を置くのでその人員に見合った規模となる。

【質問】 金屋庁舎周辺の整備にどう取り組むか。

町長 交通の利便性などをいかした都市・住宅地としての環境整備を図っていききたい。



兵庫県播磨町議会

去る8月10日、11日の2日間にわたり、視察研修を行いました。今回の視察は、議会運営の先進地である兵庫県播磨町と同日播磨町に赴き、議案審議の方法、また住民に向けての議会の取り組みなど、多岐にわたってお聞きしました。

委員会レポート

議会運営委員会

「町民に開かれた議会を！」

委員長 岡 省吾

去る8月10日、11日の2日間にわたり、視察研修を行いました。今回の視察は、議会運営の先進地である兵庫県播磨町と同日播磨町に赴き、議案審議の方法、また住民に向けての議会の取り組みなど、多岐にわたってお聞きしました。

委員会制度の導入

播磨町議会

まず1日目の播磨町議会については、議員数が16名で3つの常任委員会が構成されており、

福崎町議会の注目すべきところは、議案審議方法について委員会付託方式を採用されている点であります。本会議において提案された議案のうち条例、予算に関する議案は、それぞれの所管する委員会に付託し審議がなされているとのことであり、

しながら、今後の議会運営のあり方について、更に研究する場を設ける必要性を実感いたしました。

インターネットのライブ中継

播磨町議会

続いて2日目に播磨町議会を訪れました。

この町は、インターネットを活用して、議会のライブ中継、録画映像の配信を行っている先進地でもあります。とりわけこの町は、町民の議会に対する注目度が非常に高く、議会傍聴席が33席のうち、平成18年の総傍聴者数が291名、平成19年においても192名の方々が傍聴に来られたとのことであり、また映像配信の閲覧者も多いそう

で、平成20年はライブ映像に2303件、録画映像に4971件の計7274件のアクセスがあったそうです。

映像配信にあたっては、町民に議会の様子をどう公開していくか、長い期間検討を重ねたそうです。ありますが、今に至っては住民に広く浸透されています。

さらに4つの常任委員会で構成されており、その中には議会広報公聴常任委員会が設置され、議会広報の編集・発行および公聴に関する事項を担い、住民の議会に対する生の声を聞いて回ることもされています。まさに住民側への情報発信、情報公開に取り組み積極的な議会でありました。

議会活性化を願う

視察研修を終え、住民に開かれた議会のあり方や情報公開の重要性を再



兵庫県播磨町議会

認識し、議会活性化のひとつの方法として、インターネットライブ中継も検討の余地があり、また議会へ気軽に足を運んでいただけるような態勢も整えなければなりません。議会運営についても、今回学んだ委員会制も含め、早い段階から協議する場を持ち、より効果的かつ効率的に議会運営が進められるよう取り組み思いを胸にした2日間となりました。

委員会レポート

産業建設常任委員会 新しい農業技術の研究と特産品の 首都圏への情報発信を調査

委員長 浦 博善

新しい農業技術として注目されている「完全制御型植物生産システム」の研究と、和歌山県の観光情報や特産物を取り揃えたアンテナショップ「わかやま喜集館」の視察を目的に、去る7月9日、10日の2日にわたり視察研修を行いました。

小さな店舗内で野菜の製造販売を実現

「完全制御型植物生産システム」の研究先である、株式会社「みらい」は千葉県松戸市の市街地にあり、空き店舗を改造した小さな店舗で製造販売を行っています。20坪の生産スペース



株式会社「みらい」で説明をうける

は、完全な無菌室であり、水耕栽培による水と養分、また光までも人工的に制御した完全制御型の植物生産システムであります。投資額は20坪で約2000万円、売上高は月150万から300万円程度であり、1日25人の従業員

で運営されています。株式会社「みらい」の業務目的は、主にこのような生産システムの研究開発、設計・施工請負であります。日本の農業がこれまで培ってきた技術と工業の最先端技術、商業の考え方、情報技術の手法等を組み入れ、農業技術を高度化・先進化でありました。今回視察いたしました「完全制御型植物生産システム」などの様々な取り組みを参考に、今後のわが町の農業産業振興を考えていく必要があります。

和歌山の特産品を首都圏へ発信

2日目は、JR有楽町駅前（東京都千代田区）にあります、和歌山県の観光情報や特産物を取り揃えたアンテナショップ「わかやま喜集館」を視察しました。15坪の売り場には和歌山県の特産物が並べられ、平成16年度の開設から順調に売り上げを伸ばし、平成20年度では来館者数は24万7000人、売上高は約6300万に達したということです。また和歌山への観光案内や和歌山の特産物を首都圏の多く

の人に知っ



東京都千代田区のアンテナショップ「喜集館」

てもらうため、様々な行事に参加し営業活動を展開するとともに、マスメディアへの情報提供に努めているとのこと。当町といたしましても、このような施設を有効に活用し、みかんや山椒など有田川町の特産品の良さを、首都圏を中心に日本全国に早急に発信していくよう取組まなければなりません。

傍聴記

石垣中学校3年生の議会傍聴

身近な問題が取り上げられた
「住民としての自覚がもてた」

9月14日の一般質問に石垣中学校3年生、16名のみなさまが傍聴に来てくれました。初めての議会傍聴について、感想文を寄せていただきました。

身近な政治が

松本 祥子

私は今回、議会傍聴をするまで、町議会なんて私には関係なく、遠くかけ離れたことだと思っていました。吉備庁舎にある会議室があることさえ知りませんでした。

話の中で、分かりづらいいこともありました。道やインフルエンザについてなど分かりやすい話もありました。聞いてみると、この有田川町には

沢山の問題があることが分かりました。また、私達の身近なことを質問してくれる人がいると知り、とてもうれしかったです。

今回の議会傍聴で、今まで私には関係ないと思っていたことは、私にとつてとても身近なことなんだと知ることができました。今まで興味なかった政治にも少し興味を持ちました。とてもいい経験になったと思います。

地方自治は民主主義の学校

新田 周子

社会科の「地方自治」の学習と関連して、実際に議会を見学することに

なりました。授業で習った「定足数」や「議長」などの言葉が使われ、よりその言葉を理解することができました。

今回、初めて議会を傍聴して、多くの人が傍聴しに来ていることに驚きました。また、「アレック」の近くの交差点や「新型インフルエンザ」など、私達の身近な問題が質問されていました。

「地方自治は民主主義の学校」と言われるように、自分たちが選挙で選んだ代表が住民のために政治をし、また住民も町政について関心を寄せていることが分かりました。そして私達の町を良く

勉強のための傍聴を

岩瀬 純一

するために、住民の代表である町長さんや議員の方々が、がんばっていることが分かりました。

僕は今、社会科の授業で地方自治について勉強しています。その学習を深めるために、僕たちは議会を見学に行きました。

僕にとつてはもちろん、初めての体験でしたが、他にも議会傍聴に来ている人がたくさんいました。

議員さんからの質問は、新型インフルエンザや地デジのことなど、僕が考えていたよりも生活に身近なことだったので驚きました。

議員さんの質問に対して、町長さんや教育長さんがてきばきと答弁を行い、またいろいろな対策が進められていることが

分かりました。教科書に書いてある地方自治のしくみが理解でき、地域住民としての自覚がもてた、意義のある議会見学でした。



議員の傍聴席



お父さんといっしょの障害物競走

**議会広報編集特別委員会
構成メンバー**

○は委員長、○は副委員長、ほかは委員となります。

| | | | | | | |
|-------|-------|------|--------|-------|---------|---------|
| ○増谷 憲 | ○西 弘義 | 東 武史 | 佐々木 裕哲 | 浦 博 善 | 亀 井 次 男 | 森 谷 信 哉 |
|-------|-------|------|--------|-------|---------|---------|

**第4回定例議会は
11月に
行ないます**

第4回定例議会は、
11月9日開会、24、25
日に一般質問を行う予
定です。4年間の任期
最終の議会となりま
す。みなさん、傍聴に
ぜひお越しください。

編集後記

平成18年3月定例会から今年の9月定例会まで15回の議会が開かれた。この間、傍聴者数は延べ283人、一議会平均19人。県下の市町村議会の様子をまとめた資料によると、平成19年7月から平成20年6月までに有田川町で開催された議会の傍聴者数は60人、一議会平均15人となり、県下21町村議会中8番目の人数だ。一番多いのは白浜町の43人、次に那智勝浦町の39人、串本町の36人。ところが今議会は、48人の方々が傍聴に見え、議場に入れない方も出た。今後もみなさんに関心をもっていただくために、より議会の活性化が必要である。

(増谷 憲)

お問い合わせ
☎521-2111
吉備庁舎4階議会事務局まで